

2015年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修(基礎編)【九州・沖縄】報告

開催日時 2015年12月20日(日) 13:00~16:20

開催場所 ホルトホール大分302会議室(大分市)

参加者数 52人(会員24人、非会員28人)

運営担当 三重野英子(大分大学)



テーマ・講師

1. 高齢者の薬物療法の原則と薬剤師との協働

大分大学医学部薬剤学講座・大分大学医学部附属病院薬剤部教授 伊東 弘樹 氏

2. 高齢者の安全・適切な薬物療法に向けた看護実践

独立行政法人国立病院機構大牟田病院老人看護専門看護師、副看護師長 原口 有紀 氏

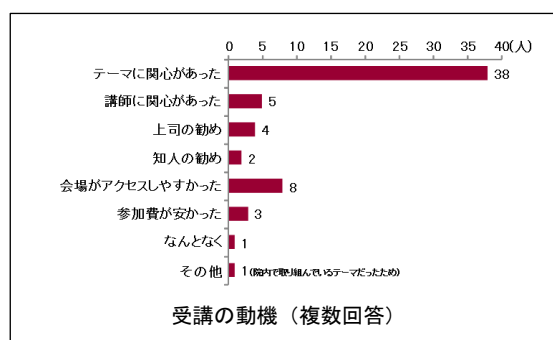
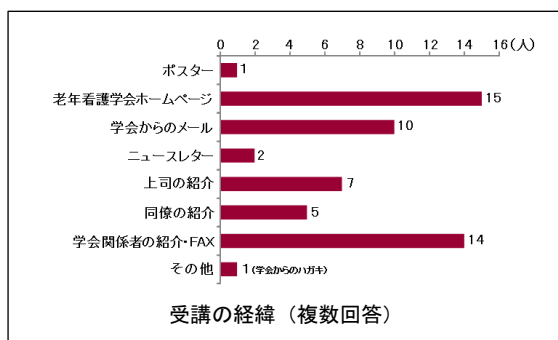
アンケート結果(回収数40/講師・担当者を除く49、回収率81.6%)

1. 回答者の概要および研修設定に対する意見

1) 属性

- ・学会員16人(40.0%)、非学会員24人(60.0%)。
- ・勤務先は、一般病院25人(62.5%)が最も多く、次いで教育機関9人(22.5%)、訪問看護ステーション2人(5.0%)。
- ・看護師経験年数は、10年以上が34人(85.0%)、5年以上10年未満が4人(10.0%)。

2) 受講の経緯と動機

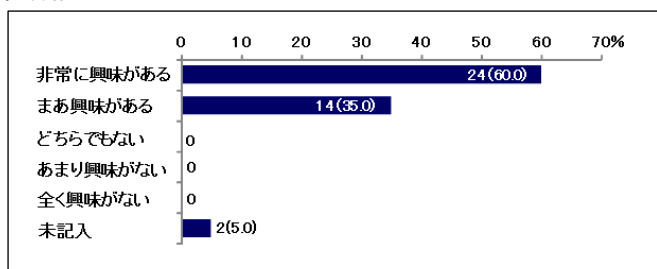


3) 開催時期/場所/時間と会費

- ・開催時期、開催場所、開催時間について、「良い」と回答した人が約9割であった。
良い理由：日曜は定例の休日で参加しやすい/駅から近くアクセスがよい
悪い理由：年末に向け繁雑な時期/5月、6月、10月、11月、1月を希望/会場の隣室の音漏れがし集中できなかつた/遠方なので帰りの時間が遅くなる
- ・会費(学会員1,500円、非会員3,000円)の設定額について、約8割が「ちょうど良い(31人、77.5%)」と回答した。「高くても良い」は2人(5.0%)、「安くしてほしい」は6人(15.0%)。
「高くても良い」希望金額：5,000円
「安くしてほしい」希望金額：学会員は無料でもよいのでは/半日ならもう少し安く/500円/1,000円~2,000円

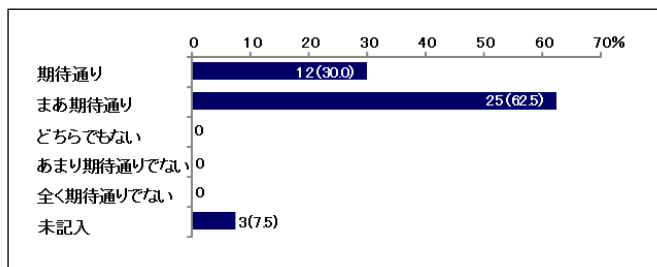
2. 本研修の企画に対する意見

1) 本研修のテーマについて



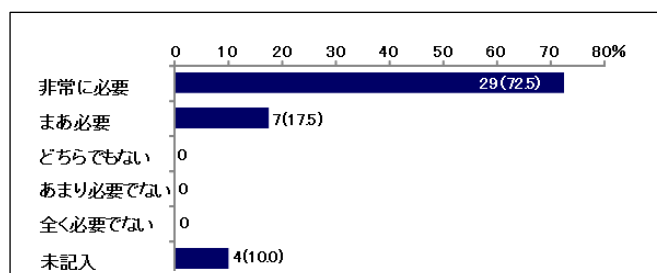
- ・当院でも高齢者の服薬指導についての難しさがある。
- ・高齢者の治療は、薬物療法がほとんどを占める。看護師は、この知識を深める必要性を強く感じている。等

2) 期待通りの研修であったか

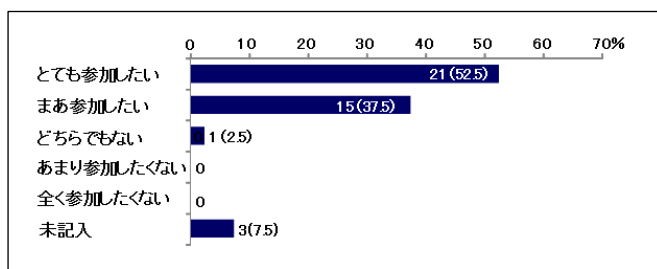


- ・現状の振り返りができた。
- ・薬剤の作用副作用だけでなく、代謝等の知識を持つ必要性を感じた。
- ・事例のかかわりの具体をもう少し聞きたかった。等

3) 老年看護における看護師の生涯学習支援について



4) 今後も本学会主催の研修に参加したいか



- ・関心のあるテーマで、開催会場が近い所（日帰り可）であれば参加したい。

3. 今後、取り上げてほしい研修テーマ

●地域を視点にした看護（認知症ケアを含め）

- ・認知症と地域包括ケアについて
- ・病院を入口とした高齢者ケアではなく、地域で暮らしている高齢者ケアとしてのテーマを取り上げてほしい（例えば、病院でのターミナルケアではなく、在宅でのターミナルケア）。地域志向の看護実践に必要かと思います。
- ・高齢者が地域で安全に楽しく暮らすための包括ケア（特に医師の協力体制）ができるシステムづくりについて（そのためには医師自身の参加、あるいは講演が望ましいと考えます）
- ・急性期病院の看護師と地域との連携について
- ・継続看護（医療機関⇄医療機関、医療機関⇄在宅、医療機関⇄福祉施設と多様になっている）

●認知症ケア

- ・認知症を持ちながら入院生活を送る人のアセスメントについて
- ・認知症看護の実際

●終末期ケア

- ・終末期の栄養管理、食べることの支援について
- ・高齢者の看取りケア（認知症も含む）

●その他

- ・高齢者ケア実践全般（認知症も含む）
- ・排泄機能障害に対する支援
- ・臨床倫理
- ・老年看護にかかわる新人看護師や学生への教育・指導について。学生たちは今までの生活の中で高齢者とかわる機会が少なく、老年看護の視点や考え方を本当に理解し、認識することが難しいようで、指導の現場では年々難しさを増しています。若者をどう捉え、どう伝えていけばよいのか、みんなで検討していくことも大切ではないかと思います。

4. 気づいた点・意見・感想

- ・その方の内服への関心というところのアプローチは日々難しいと感じ、実践しています。
- ・臨床や施設現場で大切な内容でしたので、とても学習になりました。
- ・今日はアクセスが近く、ラッキーでした。
- ・会場が少し寒く、また別の会場からの声もれのために、少し注意力が中断する部分があった。
- ・他の会議室の利用が多かったようですが、可能なら開催会場が少し離れているとよかった。
- ・休憩時間が短く、トイレも混んでおり、トイレに行けなかった。

高齢者の薬物療法ガイドライン改訂版が待たれる中、今回、高齢者の安全・適切な薬物療法の援助について、薬剤師、専門看護師の立場から講演をしていただきました。研修をとおして、看護師が、薬物動態・薬力学の知識、最新の薬剤情報を得ることがいかに重要かをあらためて認識するとともに、服薬アドヒアランス向上にむけた看護アセスメント・介入の可能性を検討することができました。

大分での初企画・運営で、参加者の皆様には、交通アクセスや会場環境等で行き届かぬ点がありお詫び申し上げます。いただいたご意見をもとに、今後の研修テーマの設定、九州・沖縄地方での最適な開催方法を検討して参ります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

運営担当 三重野英子（大分大学）